



連合自治会ニュース

「平成23年度をふり返って」

連合自治会長 伊藤 和義

平成23年度も残り少なくなってきました。この1年をふり返りますと、東日本大震災の被害に対する国を挙げての取り組みがやっと動き出し、少しは光が見え始めてきました。一方で、私たちの橋北地区では「安全で安心して暮らせる街づくり」を目指して、諸課題に取り組んでまいりました。

特に防災に関しては、周辺主要企業との連携を強めるなど、地区の一体感の強化を進めた1年でありました。また地区の環境の改善につながる事業である近鉄川原町駅付近の立体化も予定通り進捗していて、これも地区周辺の皆様のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

一方で、最も重視してきた小学校の統合につきましては、教育委員会及び各種団体ともよく話し合い、知恵を出し合って良い結論を得るべく活動してまいりました。しかし、誠に残念ではありますが、この間、地区内の皆様との話し合いに十分な時間を取れなかったこともあって、まだ合意に達するまでには至っていません。この先はある程度時間をかけて、子どもたちにとって最も望ましい答えを得るべく、関係者と一層の努力をしてまいりたいと思っています。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。



自治会活動の紹介

滝川町第一自治会 会長 山内 満

加入世帯数127、住民310人、高齢化率18%、今年は敬老対象者も56人となっています。子ども育成会は現在24人とほぼ横ばいであります。

近鉄川原町駅周辺高架化事業に伴う関ヶ原線(R365号)改良および三滝川河川拡張工事に伴って13軒の転居があり、加入世帯の減少から空地、空家も見られる。将来、近鉄高架事業完成後に居住者が増えることも期待されます。

とりわけ、防災活動は活発で、特に西ブロックを中心に子どもや保護者、高齢者を中心に炊き出し(土鍋で)訓練をやっている。第二市民防の隊員同士の交流の場になっていきます。

将来は、近鉄の高架橋も含め、津波、洪水への対応を皆さんで検討を深め合っていきたいと考えています。



橋北地区連合自治会 文化・広報部

発行責任者 伊藤 和義

編集責任者 高波 功